

2021年5月14日

各 位

会 社 名 株式会社リミックスポイント
 代表者名 代表取締役社長 CEO 小田 玄紀
 (コード番号：3825)
 問合せ先 取締役経営管理部長 高橋 由彦
 (TEL：03-6303-0280)

2021年3月期の連結業績と前期の連結業績との差異に関するお知らせ

2021年3月期の連結業績（以下「当期連結業績」という）と、2020年3月期の連結業績（以下「前期連結業績」という）との差異について、下記のとおりお知らせいたします。

当社は、当社グループの金融関連事業を構成する暗号資産交換業において、経済情勢、暗号資産に関わる市場環境や金融市場の動向の影響を受けること、また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による事業環境の変化によって当社グループの事業活動及び財政状態に与える影響が極めて不透明であったことから、適正かつ合理的な業績予想の算定が困難であることを理由に、2021年3月期の連結業績予想を公表しておりません。そのため、本日付「2021年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました当期連結業績と前期連結業績との差異の説明を行うものであります。

記

1. 当期連結業績と前期連結業績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期連結業績(A)	11,229	△1,198	△1,231	△5,173	△88.66
当期連結業績(B)	13,217	△2,888	△2,893	△2,974	△36.86
増減額(B－A)	1,988	△1,690	△1,661	2,198	51.79
増減率(%)	17.7	－	－	－	－

2. 差異の理由

エネルギー関連事業の電力小売事業において、需要家との契約口数の増加により販売電力量が伸長したこと、また、金融関連事業において、暗号資産交換業を営む連結子会社（孫会社）の株式会社ビットポイントジャパン（以下「BPJ」という）で、2020年8月実施した

リニューアル後の暗号資産取引システムの稼働や、取引システムのUI（ユーザー・インターフェース）/UX（ユーザー・エクスペリエンス）の継続的な向上によって取引量が伸長したこと等により、売上高は前期連結業績を上回る結果となりました。

他方、電力小売事業において、2020年12月中旬から2021年1月下旬にかけて一般社団法人日本卸電力取引所（以下「JEPX」という）での電力取引価格の急激な高騰が一定期間続く事象が発生いたしました。これにより、インバランス料金（接続供給等において計画電力量に対し同時同量を達成できない場合に発生する差分（インバランス）に対する料金で、その単価は一般送配電事業託送供給等約款に基づき JEPX における市場価格に連動して算出される）2,701 百万円が発生するなど、売上原価がこれまでになく大幅に増加したため、営業利益および経常利益は、前期連結業績と比較して大きく下回る結果となりました。

また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上記要因はあったものの、前年度には2019年7月に発生したBPJにおける暗号資産の不正流出に係る特別損失4,047百万円を計上していたことから、結果として前期連結業績を上回ることとなりました。

以 上